

新型コロナウイルス感染症

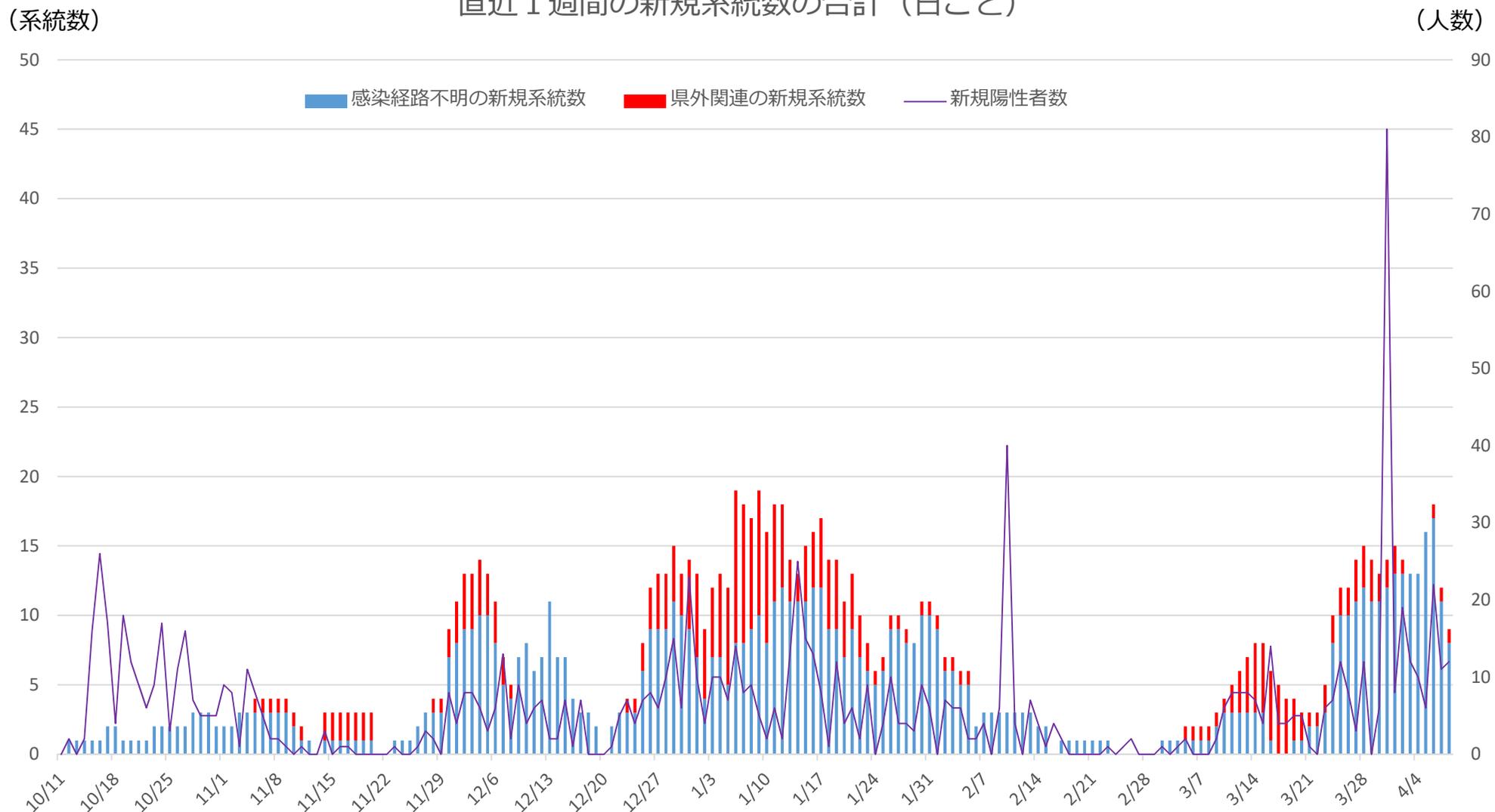
感染の状況

令和3年4月9日

新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部
保健医療調整本部

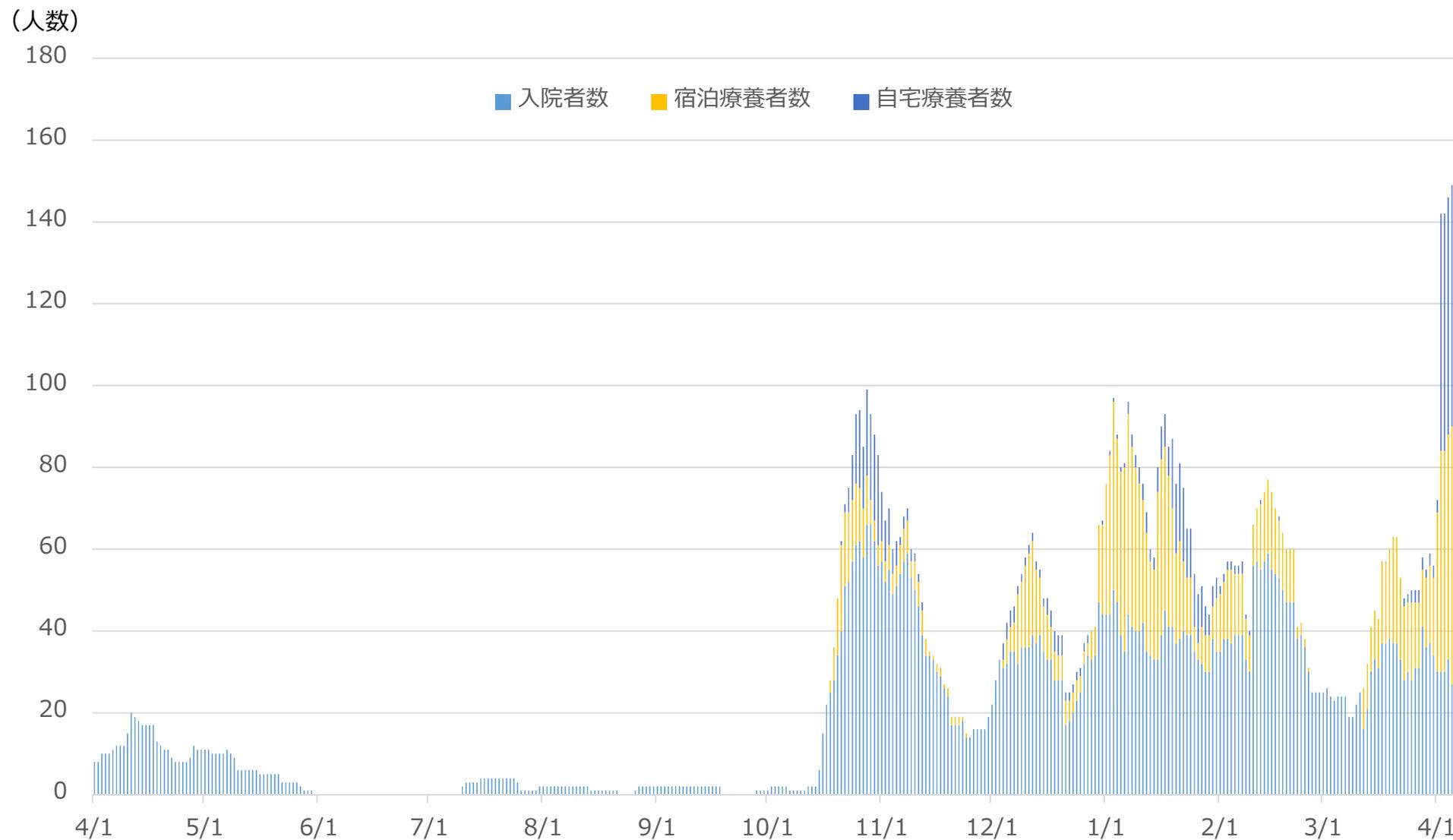
感染状況

直近 1 週間の新規系統数の合計（日ごと）



R3.4.8現在

入院・療養状況



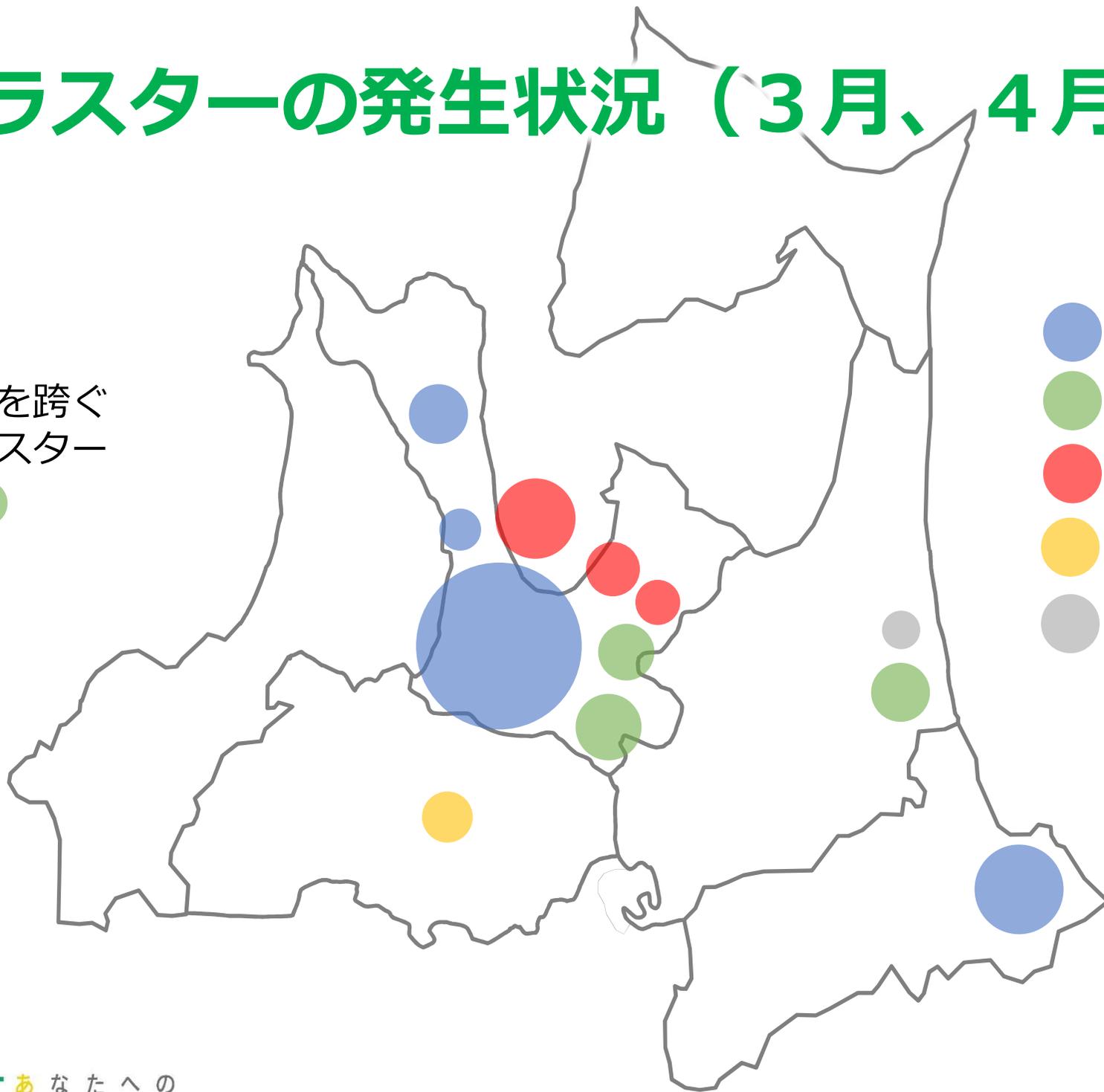
R3.4.7現在

クラスターの発生状況（3月、4月）

圏域を跨ぐ
クラスター



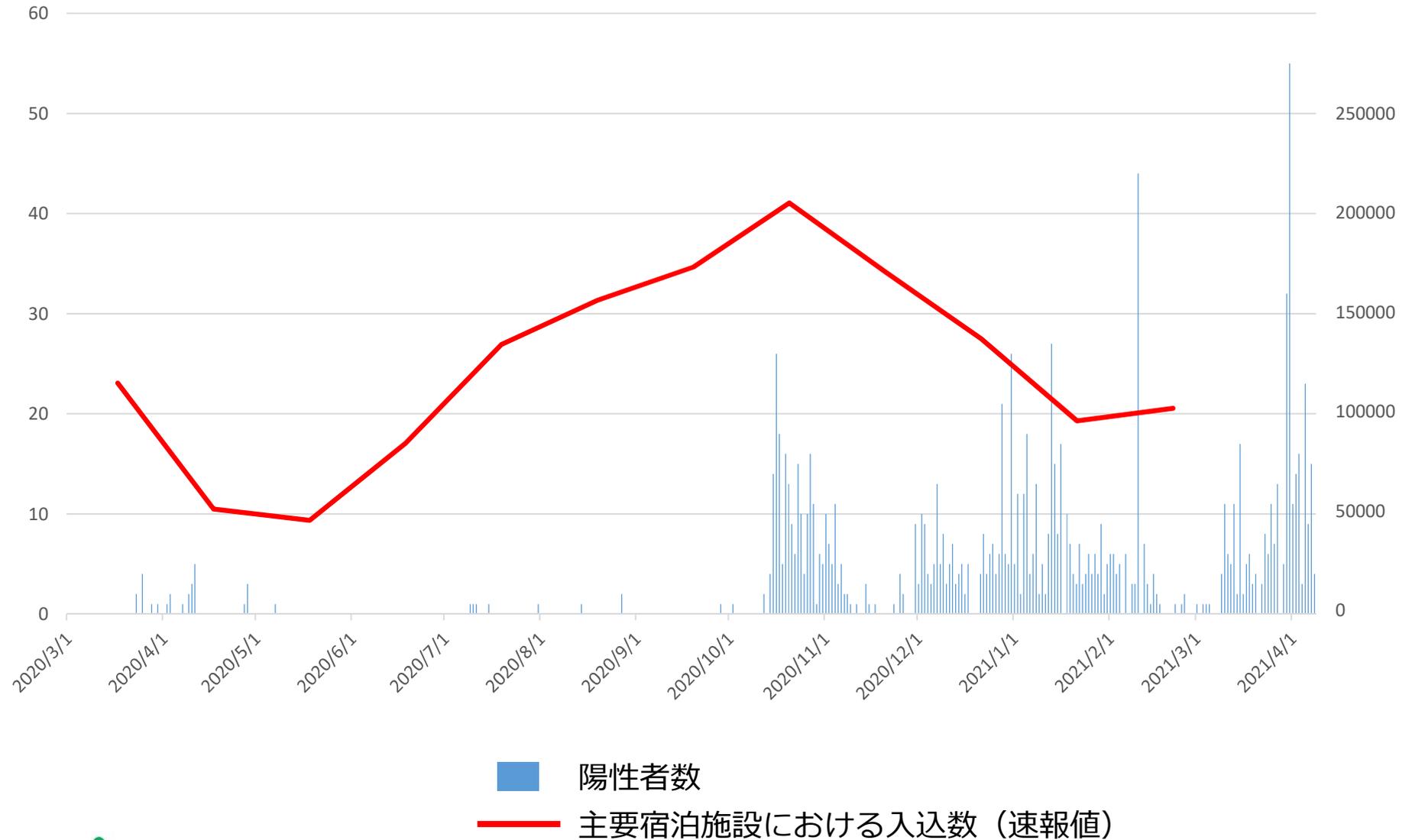
- 施設
- 職場
- 飲食店
- 学校
- その他



陽性者と青森県主要宿泊施設入込客数

(人数)

(人数)



変異株の発生状況

○4 / 7に、本県においても、**N 5 0 1 Y 変異株**がはじめて確認。

- ・ N 5 0 1 Y 変異株は、従来株より**感染しやすい可能性**がある。
- ・ N 5 0 1 Y 変異株のうち、英国や南アフリカで確認された変異株は、**重症化しやすい可能性**も指摘。
- ・ 変異株は**原則入院**が必要。ウイルスが検出されなくなるまで**長期の入院**が必要。

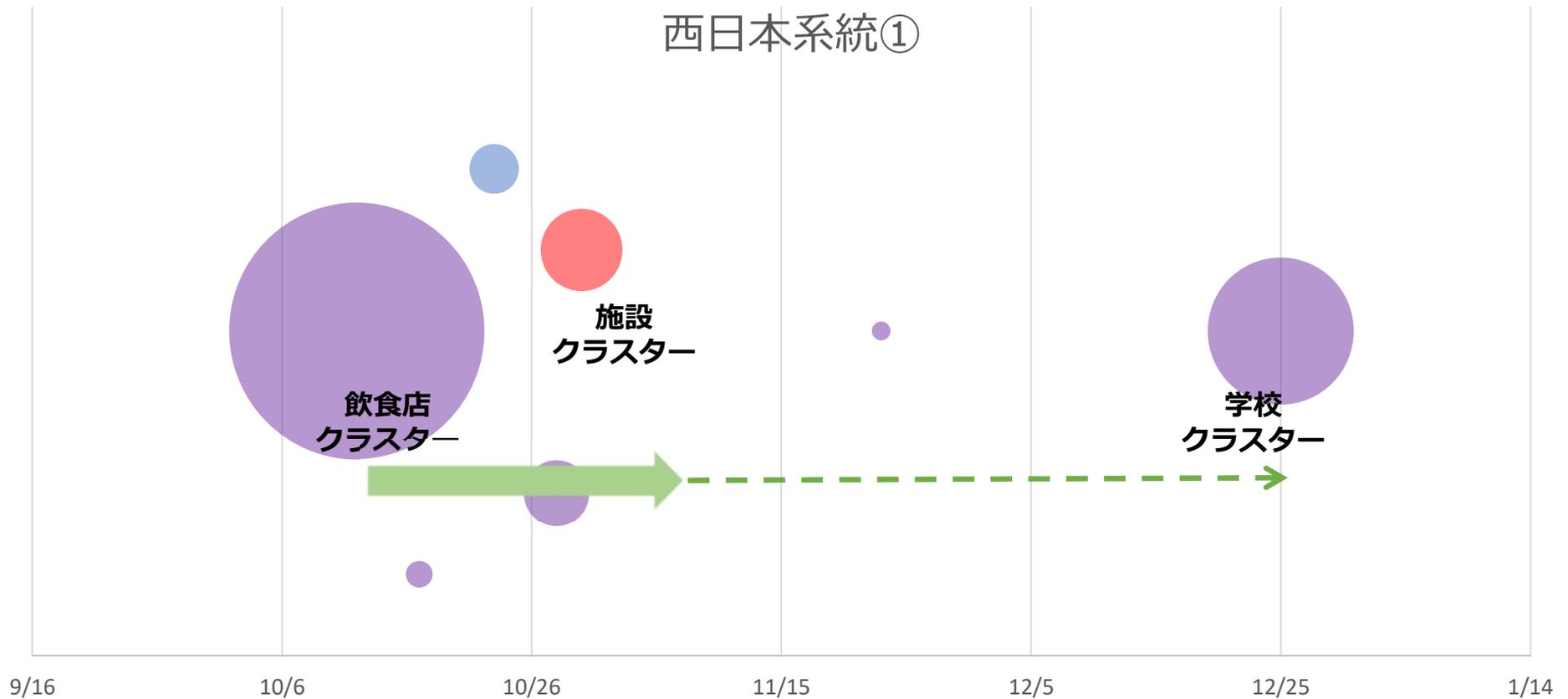


医療提供体制のひっ迫

【変異株の症例】

- ・ 3月下旬以降に発生の患者 1 名
- ・ 弘前保健所管内
- ・ 感染経路は確認中

感染経路（遺伝子分析①）

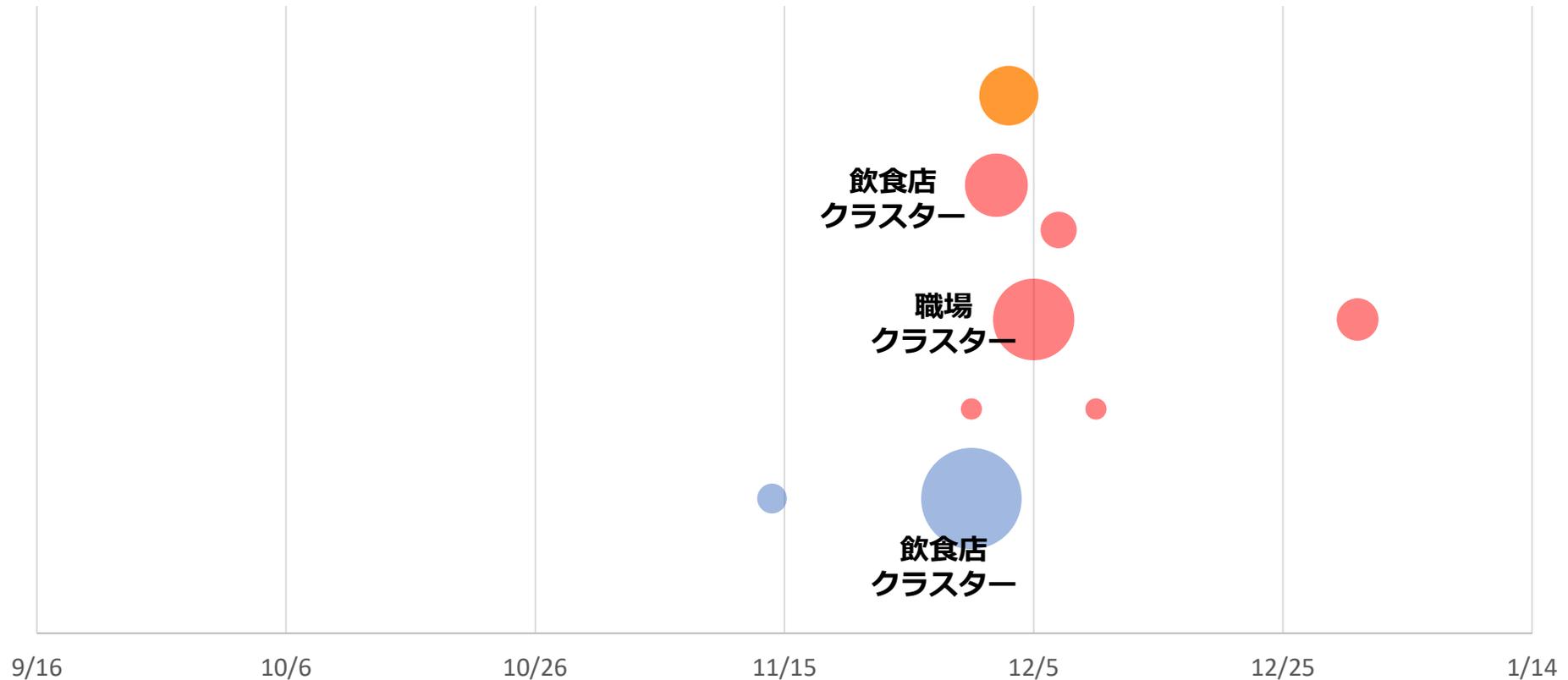


- 弘前保健所管内
- 青森市
東地方保健所管内
- 八戸市
三戸地方保健所管内
- 上十三保健所管内

遺伝子分析は
R2.10.12～R3.1.29 判明分

感染経路（遺伝子分析②）

西日本系統②



- 弘前保健所管内
- 八戸市 三戸地方保健所管内

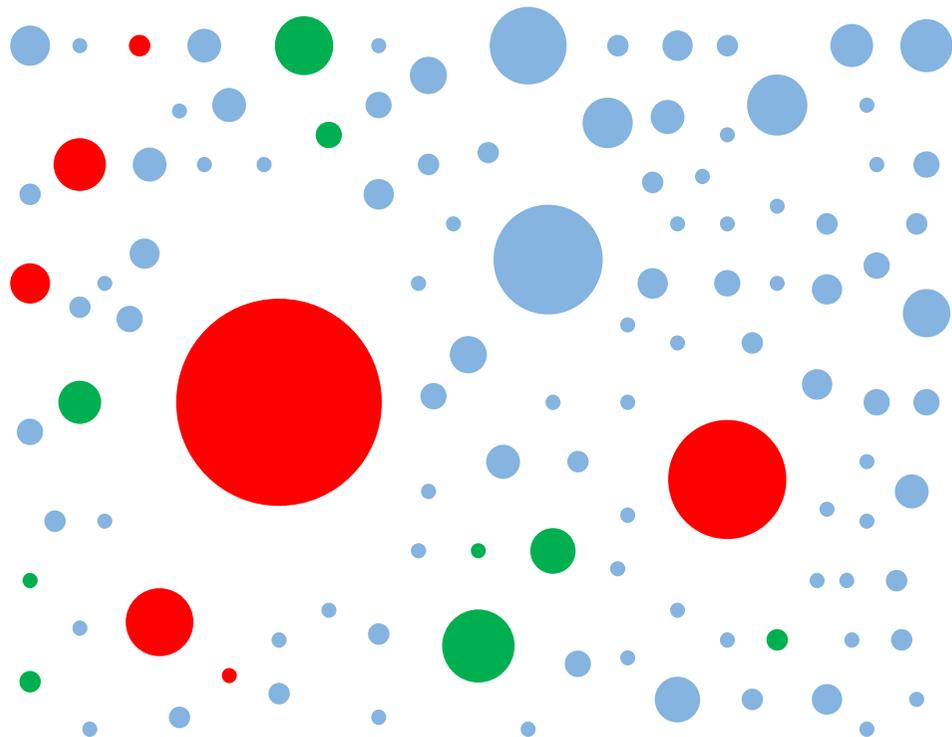
- 青森市 東地方保健所管内
- 上十三保健所管内

遺伝子分析は
R2.10.12～R3.1.29 判明分

感染経路（遺伝子分析③）

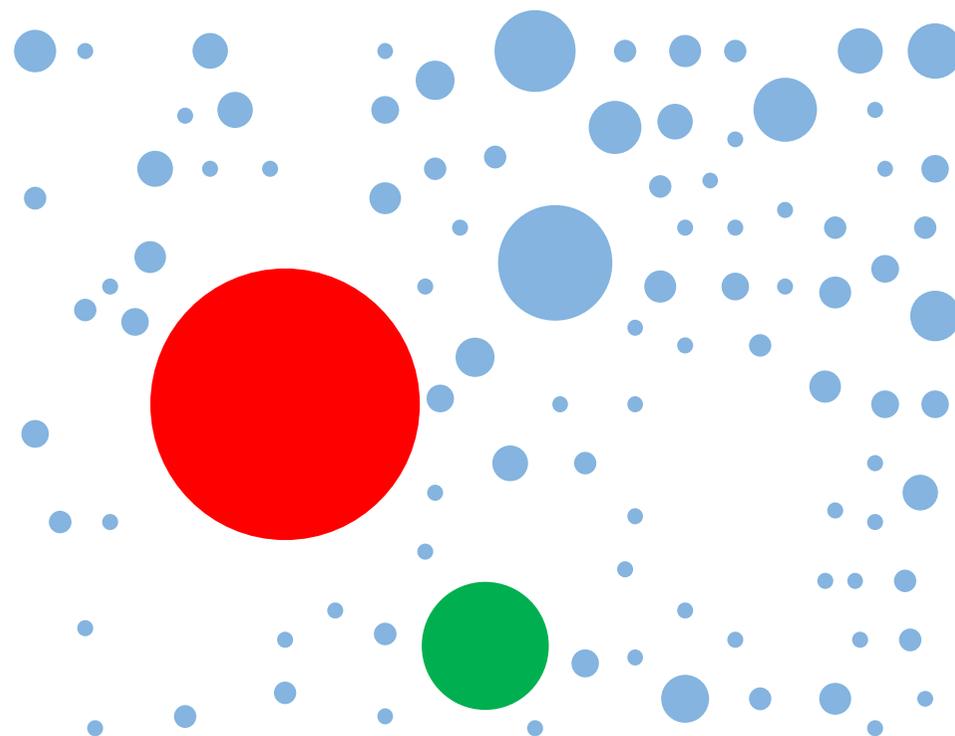
感染経路系統のイメージ図

積極的疫学調査のみ



110系統（うち西日本①8系統、西日本②9系統）

積極的疫学調査 + 遺伝子分析



95系統（うち西日本①1系統、西日本②1系統）

● 西日本系統①

● 西日本系統②

● その他の系統



※R2.10.12～R3.1.31に判明した新規系統

※1系統が1つの●で、大きさが1つの系統の規模（人数）を示す。

クラスター＋遺伝子分析

- 積極的疫学調査は有効だが限界がある
- ある系統が蔓延する状況ではない
 - 最長3ヶ月程度で立ち消えているように見える
- 1～2ヶ月程度の潜航はあるようだ
- 県内各地に飛び火する
 - この場合の連鎖の解明は難しい

今後の対策の重要性

- 現在、去年に比べ、春の人流の影響が格段に意味を持ちつつある
- 変異株が県内でも初めて確認
- 変異株が拡大し、急激に感染者が増大する可能性がある
- 医療崩壊が起こってからでは遅い
 - 救急医療、通常医療に大きな障害が起こる
 - 結局は県民が大きな不利益を被る

対策として取り得ること

- 人流・会食のコントロールがメイン
- 県民への呼びかけ（限界に来ている）
- 自治体・事業者ができることを全て行う
 - 人流：不要不急の移動は控える。
 - 会食：祭り、イベント等のあとの会食は控える。

祭り、イベント等の開催について

主催者、自治体は、

- 祭り等の感染対策だけではなく、祭り期間終了後の感染拡大を起こさないことも含めて実施の是非を検討。
- 祭り等の気分の高揚が、多人数での会食や大騒ぎにつながらないよう様々な対策を実施。
- 祭り等の会場から飲食店街への県外客や不特定多数の客の流入を抑えるよう対策を実施。

祭り、イベント等の開催について

飲食店は、

- ガイドラインに沿った感染対策を実施。
- 多人数のグループ客の来店は控えてもらう。
- 常連さんであってもグループごとの距離を適切にとり、グループ間の交流が起こらないよう注意喚起。
- 複数のグループが来店しているときは、カラオケは使用しない。

県民は、

- 親戚、旧知の友人など普段一緒にいない人との会食や自宅への招待は避ける。

会食による事例（飲食店の皆様へ）

○このような飲食店でも、マスク未着用等のため、
感染しています。

- ・ 接待を伴わない飲食店
- ・ 小規模な飲食店
- ・ 常連、顔見知りしか利用しない飲食店



○お店の方は、
どんなときでも必ずマスク着用

【具体的な対策】

- ・ ○○記念パーティなど、常連であっても普段一緒にいない人たちが多数集まる催しは開催しない。
- ・ ガイドラインに沿った感染対策を実施。
- ・ 多人数のグループ客の来店は控えてもらう。
- ・ 常連さんであってもグループごとの距離を適切にとり、グループ間の交流が起こらないよう注意喚起。
- ・ 複数のグループが来店しているときは、カラオケは使用しない。

会食による事例（利用者の皆様へ）

- はしご酒、長時間の飲酒で、
 - ・気が緩み、感染対策が不十分に。
 - ・2次会、3次会の店名や、誰とどこで飲食したか覚えていない。
（感染経路や濃厚接触者が困難）



飲酒を伴う会食は短時間、1ヶ所

【具体的な対策】

- ・マスク未着用など感染対策をしていない店を利用しない。
- ・親戚や旧知の友人など、普段一緒にいない人との会食や自宅への招待は避ける。
- ・日々の健康観察を実施する。
- ・普段一緒にいる人と少人数で実施。

カラオケによる事例

- 大声で歌うこと、大声で話すことは、感染リスクが高まります。
- 飲食店のカラオケで、見ず知らずの隣のグループに感染させた事例があります。



カラオケは、飲酒せず、短時間で楽しみましょう

【具体的な対策】

- ・十分な換気など、ガイドラインに沿った感染対策。
- ・マイクやコントローラーなどのこまめな消毒。
- ・他の人がいる場合は、カラオケをしない。

スポーツによる事例

- 試合のあとなどは、**呼気が上がる**とともに、**気分が高揚**し、感染対策がおろそかになる事例があります。
- 県外の方等との**対外試合**、**外部講師**の指導などは、場合によっては感染リスクが高まります。



運動の合間やロッカーでの会話は、マスク着用

【具体的な対策】

- ・毎日こまめな健康チェック。
- ・声援、指示などの大声は出さない。
- ・対外試合、外部講師、合宿は当面避ける。
- ・打ち上げの会食は避ける。
- ・シャワー室での会話は避ける。

